

令和4年度 帯広畜産大学地域共創ファンド公募要項

帯広畜産大学産学連携センター長

募集趣旨

帯広畜産大学では、研究成果の円滑な社会実装を目指し、令和3年3月より企業等集積プラットフォーム（URL：<http://univ.obihiro.ac.jp/~platform/>）を立ち上げました。プラットフォームでは、大学の研究活動をより深く知っていただくため情報発信、ミニ交流会や教育セミナーなどの開催を通して、大学へ相談しやすい環境づくりや大学と企業等との連携を促す取組みを行っています。

帯広畜産大学地域共創ファンドは、北海道の産業振興、道内企業等の課題解決や人材育成等のため、プラットフォーム参画機関と大学の連携による研究開発コンソーシアムの構築や、共同研究の推進について、大学の自己資金により支援するものです。

募集要領

募集内容

大学と企業等が連携し、北海道の地域課題解決や経済および産業発展へ貢献しうる共同研究課題や研究成果の社会実装を加速させる取組みについて資金の支援を行います。

A) コンソーシアム形成支援型（最大30万円/年度×1～2件）

新たな研究開発を行うため、コンソーシアムを構築するための資金

B) 共同研究加速型（最大70万円/年度×1～2件）

企業等集積プラットフォームに入会している企業等との共同研究を加速させるための資金

申請資格者

帯広畜産大学に所属する教員を研究代表者（以下「申請者」という。）とし、企業等集積プラットフォーム入会している企業等（※）との連名とします。特に小樽商科大学や北見工業大学、若手研究者や女性研究者が参画する応募を歓迎します。

B) 共同研究加速型においては、これまで企業と連名で競争的資金に応募したが不採択となった課題で、データを追加すれば来年度の採択が期待されるものを優先的に採択します。

※まだ企業等集積プラットフォームへの入会が済んでいない場合は、[HP](#)よりお申し込みください。

申請対象経費

A) コンソーシアム形成支援型

セミナー・会議費、旅費、消耗品費等

B) 共同研究加速型

消耗品費、分析費、旅費、備品費（合算による備品購入も可）等。

ただし、企業と連携した研究開発活動の支援を目的としているため、学会参加費等学術

的な活動についての予算は不可とします。

経費の使途と研究内容との関連を明確にした上で計画し、帯広畜産大学地域共創ファンド申請書（様式1）に明記してください。

研究分担者

帯広畜産大学の所属教員に限らず、他大学の教員、公的研究機関や民間企業の研究員についても、研究分担者として研究に参加できることとします。

研究期間

共同研究契約締結日から令和5年3月31日

申請方法

- ① 申請者は、申請前に申請課題について本文末尾の「応募先及びお問合せ先」へメールで連絡し、URA等担当者と電話又はWeb会議等による事前相談を行ってください。
- ② URA等担当者および企業等担当者と事前相談を行った上で、「帯広畜産大学地域共創ファンド申請書（様式1）」にURA等担当者による見解を記載してください。
- ③ 上記①および②を行った上で、研究課題、研究計画、必要経費、研究期間等について記載した帯広畜産大学地域共創ファンド申請書（様式1）1部をメールで提出してください。

申請様式については、下記ウェブサイトよりダウンロードしてください。

URL：<https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/pf-collabo2022>

申請書提出期限

令和4年9月9日（金）必着

審査

審査は帯広畜産大学産学連携センター長が行い、3週間以内を目途に申請者へ審査結果を通知します。

なお、応募内容により、必要に応じて産学連携センター教員による個別のヒアリングを行う場合があります。また、審査の結果、採択額が申請額より減額となる場合があります。

【評価の観点】

下記の観点で申請課題の審査を行います。

A) コンソーシアム形成支援型

1. 地域性・独自性
2. 参画機関の意欲、実効性
3. 北海道の地域課題解決や経済の発展への貢献
4. コンソーシアムの目的及び計画

B) 共同研究加速型

1. 技術シーズの新規性・優位性
2. 企業連携の促進性

3. 北海道の地域課題解決や経済の発展への貢献
4. 研究開発の目標及び計画

共同研究の開始

採択された場合、本学を含めた研究実施機関の間で共同研究契約を締結し共同研究を開始します。本ファンドによる支援資金は申請者である大学教員に研究費として配分されます。研究の実施にあたり共同研究先の大学や企業等への資金配分が必要な場合は、共同研究契約書に基づき、各機関に所用の経費を配分します。

間接経費

限られた財源のなかで、取組みを最大限活性化させるという観点から、公募の申請にあたっては、研究に必要な直接的経費のみ計上できることとし、本共同研究において他機関への資金の配分が必要な場合、本研究に係る間接的経費は、研究を実施する各々の機関において負担していただくこととします。各機関においては本趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

研究成果報告

申請者は、研究終了後 60 日以内に「帯広畜産大学地域共創ファンド報告書（様式 2）」を、「応募先及びお問合せ先」へメールで提出してください。また、研究成果の公開および共有を目的とした報告会を開催し、研究代表者に成果を発表していただきます。詳細については別途お知らせいたします。

本研究による成果の発表

本共同研究による成果を発表する場合は、必ず本共同研究による旨を明記してください。

【和文】

帯広畜産大学産学連携センター 地域共創ファンド(2022-#)

【英文】

Regional co-creation fund (2022-#) Center for Industry-University Collaboration,
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

注) #には採択通知による課題番号を記入してください。

知的財産の取扱いについて

本共同研究の実施により生じた知的財産権の取扱いは、帯広畜産大学知的財産ポリシー (<https://www.obihiro.ac.jp/ip-policy>) に準じた取扱いをいたします。

個人情報の取り扱いと秘密保持

申請に関連して提供いただいた個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）及び関係法令を遵守し、帯広畜産大学地域共創ファンドに関することの目的にのみ利用します。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

また、提供いただいた全ての情報は、帯広畜産大学内で適切に管理し、申請者の同意なく第三者に提供することはありません。ただし、今回申請いただいた研究課題等については、小樽商科大学、北見工業大学と連携したオープンイノベーションを推進していく上で随時検

討の材料とさせていただきます。この場合、申請者へ質問させていただくこと等があります。

応募先及びお問合せ先

北海道国立大学機構帯広畜産大学 産学連携センター（担当：東・高橋）

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線1-1番地

電話：0155-49-5540/5771

メール：crcenter@obihiro.ac.jp